

平成24年度 学校自己評価システムシート・ 学校運営協議会委員評価・『学校経営』課題・改善アクションプラン (3学期評価)

平成27年10月21日

玖珠町立玖珠中学校 校長 梶原 敬明

教育目標	あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成
経営の重点目標	<p>☆子ども中心にすえて 「コミュニティ・スクール」として</p> <p>☆子どもの将来を見すえて</p> <p>☆あたりまえのことが、あたりまえにできること</p> <p>※教育目標達成に向けて・・・ ①学習に励む ②あいさつ・返事 ③清掃 ④服装！！</p>

玖珠町教育行政重点方針

1. 基礎基本学力の定着
2. 規範意識の徹底と自己肯定感の養成
3. 基礎体力の向上
4. 教職員のスキルアップ
5. コミュニティスクールの取り組み

評価指標	学校運営協議会委員評価	評価内容	A	ほぼ達成 (8割以上)
			B	概ね達成 (6割以上)
			C	変化の兆し (4割以上)
			D	不十分 (4割未満)

重点目標	平成24年度 目標 : 学校評価 (自己評価)				平成24年度学校関係者評価 (学校運営委員評価)						
	評価項目 (具体的取組)	達成指標	重点的取組	取組指標	達成状況 (結果)				達成度	評価	次年度への課題と改善策
					評価指標	1学期指標	2学期指標	3学期指標			
①【知】基礎基本学力の定着	<p>☆1年生【玖珠町標準学力調査(国・社・数・理)結果で判断</p> <p>☆目標値+5Pを上回る目標とする。</p> <p>【1学期】 【2学期】</p> <p>・国語(正答率) 79.1 70.0</p> <p>・社会(正答率) 67.4 62.1</p> <p>・数学(正答率) 77.8 67.2</p> <p>・理科(正答率) 67.8 62.9</p> <p>・英語(正答率) 63.1</p>	<p>①「1時間完結」型授業の徹底</p> <p>②習熟度に応じた指導の強化</p> <p>③板書の構造化、板書とノートの一体化</p> <p>④学習環境づくり</p> <p>⑤基礎基本の定着の取り組み</p> <p>⑥小学校との連携の充実</p>	<p>①「1時間完結」型授業の徹底</p> <p>・「めあて」と「まとめ」をセットにした授業展開を行う。</p> <p>・特に、「まとめ」では何がわかったかを確認するとともに習熟のための課題を出す。</p> <p>・生徒に主体的な学習の場や教えあいの場を仕組む。</p> <p>・「情報を活用する力」を育てる教材開発に努める。</p> <p>・教職員全員が年間最低1回以上の互見授業を行う。</p>	<p>【1年生】</p> <p>・国語(正答率) 81.5 79.5</p> <p>・社会(正答率) 69.9 61.8</p> <p>・数学(正答率) 79.3 76.4</p> <p>・理科(正答率) 70.4 62.3</p> <p>・英語(正答率) 72.2</p>		<p>○A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>学校運営協議会委員評価・所見</p>	<p>評価</p>	<p>次年度への課題と改善策</p>		
	<p>☆2年生【大分県教委基礎基本定着状況検査(国・数・理・英)結果で判断</p> <p>☆県平均+1Pを目標とする。</p> <p>☆2年生【玖珠町標準学力調査(国・社・数・理)結果で判断</p> <p>☆目標値+1Pを上回る目標とする。</p> <p>【県平均】 【町学力調査】 【2学期】</p> <p>・国語:(正答率)64.6 (偏差値)49.9 国語(正答率)67.7</p> <p>・数学:(正答率)62.7 (偏差値)50.2 数学(正答率)64.4</p> <p>・理科:(正答率)54.6 (偏差値)50.2 理科(正答率)57.6</p> <p>・英語:(正答率)64.4 (偏差値)49.2 英語(正答率)58.7</p> <p>・社会(正答率)57.3</p>	<p>③板書の構造化、板書とノートの一体化</p> <p>・学習規律などのルールの確立とともに板書やノート指導を進める。</p> <p>・下位生徒にもわかりやすい板書の工夫を行う。</p>	<p>④学習環境づくり</p> <p>・学習コーナーの設置とその充実をはかる。</p> <p>・問題データベースを利用し、基礎・基本事項の定着の徹底を図る。</p>	<p>【2年生】</p> <p>・国語:(正答率) 62.6 (偏差値) 48.9</p> <p>・数学:(正答率) 59.2 (偏差値) 48.7</p> <p>・理科:(正答率) 53.0 (偏差値) 49.4</p> <p>・英語:(正答率) 57.0 (偏差値) 46.1</p> <p>・社会(正答率) 46.1</p>						<p>A</p> <p>B</p> <p>○C</p> <p>D</p>	
	<p>☆3年生【全国学力・学習状況調査(国・数・理)結果で判断</p> <p>☆全国平均+1Pを目標とする。</p> <p>【全国平均(正答率)】</p> <p>・国語A: 75.1</p> <p>・国語B: 63.3</p> <p>・数学A: 62.1</p> <p>・数学B: 49.3</p> <p>・理科A: 51.0</p> <p>・理科B: 47.8</p>	<p>【基礎基本の定着の取組】</p> <p>☆授業と家庭学習(宿題・課題)等をリンクさせた指導の充実。</p> <p>☆放課後の(3:55~4:05)反復学習(ドリル学習・演習問題等)の取組の充実。</p> <p>☆放課後を利用した個人指導。</p> <p>・「わからなかったところがわかるようになる」という姿勢で復習指導の徹底を図る。</p> <p>★成績分布が双こぶで、低位学力層の生徒対策で放課後、休業中での個人指導等の対策を図る。</p> <p>・学習規律など月ごとに重点目標を設定し、意識して守りあえる集団づくりを推進する。</p> <p>・毎朝の読書タイム(8:25~8:35)の充実のため、必ず担当の教職員がクラスに常駐する。</p>	<p>【新1年生対策として】</p> <p>・小学校6年生の春休みに【小学校のふりかえり】としての復習問題を与え、入学時に提出させる。</p>	<p>【3年生】</p> <p>・国語A:(正答率) 75.1</p> <p>・国語B:(正答率) 63.3</p> <p>・数学A:(正答率) 62.6</p> <p>・数学B:(正答率) 41.2</p> <p>・理科A:(正答率) 47.7</p> <p>・理科B:(正答率) 51.5</p>							<p>A</p> <p>○B</p> <p>C</p> <p>D</p>

平成24年度 学校自己評価システムシート・ 学校運営協議会委員評価・『学校経営』課題・改善アクションプラン (3学期評価)

平成27年10月21日

玖珠町立玖珠中学校 校長 梶原 敏明

玖珠町教育行政重点方針

1. 基礎基本学力の定着
2. 規範意識の徹底と自己肯定感の養成
3. 基礎体力の向上
4. 教職員のスキルアップ
5. コミュニティスクールの取り組み

教育目標	あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成
経営の重点目標	<p>☆子ども中心にすえて 「コミュニティ・スクール」として</p> <p>☆子どもの将来を見すえて</p> <p>☆あたりまえのことが、あたりまえにできること</p> <p>※教育目標達成に向けて・・・ ①学習に励む ②あいさつ・返事 ③清掃 ④服装！！</p>

評価指標	学校運営協議会委員評価	評価内容	A	ほぼ達成 (8割以上)
			B	概ね達成 (6割以上)
			C	変化の兆し (4割以上)
			D	不十分 (4割未満)

重点目標	平成24年度目標：学校評価(自己評価)						平成24年度学校関係者評価(学校運営委員評価)					
	評価項目(具体的取組)	達成指標	重点的取組	取組指標	達成状況(結果)			達成度	学校運営協議会委員評価・所見	評価	次年度への課題と改善策	
					評価指標	1学期指標	2学期指標					3学期指標
【知】 基礎基本学力の定着(2)	【授業改善の取組】 分かる授業の取組	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「先生の授業(説明)はわかりやすいですか」【肯定的数値】 ☆前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①全ての子どもに授業(説明)がわかりやすいように、授業での教え方の工夫改善を図っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証し、授業の改善を図っていく。 ②他の先進校の取り組みなど積極的に取り入れるなどして、授業改善を行う。	★【生徒による学校評価】 *「先生の授業(説明)はわかりやすいですか」	81%	79%	75%		A B C D		
	【授業改善の取組】 教え方の工夫	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「先生の授業でわかりやすくするため、教材教具の工夫をしていますか」【肯定的数値】 ☆前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①全ての子どもに授業がわかりやすくするために、教材教具の工夫改善を全ての教職員が意識し、子どもたちがわかりやすい教材になるように積極的に改善を行う。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証し、授業の改善を図っていく。 ②教材の研究を組織的に行っていく。	★【生徒による学校評価】 *「先生の授業でわかりやすくするため、教材教具の工夫をしていますか」	70%	80%	76%		A B C D		
		☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「授業中、意見や考える時間が十分ありますか」【肯定的数値】 ☆前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①授業規律の高揚を図るうえで、生徒の態度などの規律指導は最も重要なことであり生徒の思いを真摯にとらえ、この意識調査を通じ、生徒への指導の在り方や学校教育活動の改善を図っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証し、授業の改善を図っていく。 ②単元ごとの授業の進捗について、常に検証して、改善を図っていく。	★【生徒による学校評価】 *「授業中、意見や考える時間が十分ありますか」	54%	72%	67%		A B C D		
	【授業改善の取組】 生徒の学習意欲	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「授業中、意見や考えが出やすいですか」【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①授業規律の高揚を図るうえで、生徒の態度などの規律指導は最も重要なことであり生徒の思いを真摯にとらえ、この意識調査を通じ、生徒への指導の在り方や学校教育活動の改善を図っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証し、授業の改善を図っていく。 ②単元ごとの授業の進捗について、常に検証して、改善を図っていく。	★【生徒による学校評価】 *「授業中、意見や考えが出やすいですか」	54%	59%	67%		A B C D		
		☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「意欲を持って授業に参加していますか」【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①子どもたちから見て、魅力ある授業の取り組みを研究して実行していく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証し、授業の改善を図っていく。 ②子どもが意欲的に授業に参加しているかなど、子どもが自主的に学習に取り組んでいるか、授業ごとに内容の検証を行う。	★【生徒による学校評価】 *「意欲を持って授業に参加していますか」	68%	73%	76%		A B C D		
	【授業改善の取組】 学習内容の定着	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「あなたは学習内容が身についていると思いますか」【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①学習内容が身についているかドリルやテストを活用して検証して、指導方法の工夫を行っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証し、授業の改善を図っていく。 ②毎日の放課後のドリルタイムを活用して検証していく。 ③定期テスト、町の確認テスト等を活用して個に応じた指導の充実を図る。	★【生徒による学校評価】 *「あなたは学習内容が身についていると思いますか」	66%	70%	70%		A B C D		
	【授業改善の取組】 家庭学習の定着	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「家庭で毎日学習をしていますか」【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①家庭学習の徹底を図るため、保護者と連携し、指導していく。 ②家庭での学習課題を積極的に子どもに与える。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証し、授業の改善を図っていく。 ②学期ごとに(年間3回)保護者に対して家庭学習調査を行い、毎日2時間以上の家庭学習の定着のため保護者と情報を共有し、連携して指導していく。 ③毎日、家庭での学習課題を子どもに与える。	★【生徒による学校評価】 *「家庭で毎日学習をしていますか」	88%	85%	89%		A B C D		

平成24年度 学校自己評価システムシート・ 学校運営協議会委員評価・『学校経営』課題・改善アクションプラン (3学期評価)

平成27年10月21日

玖珠町立玖珠中学校 校長 梶原 敬明

教育目標	あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成
経営の重点目標	<p>☆子ども中心にすえて 「コミュニティ・スクール」として</p> <p>☆子どもの将来を見すえて</p> <p>☆あたりまえのことが、あたりまえにできること</p> <p>※教育目標達成に向けて・・・ ①学習に励む ②あいさつ・返事 ③清掃 ④服装！！</p>

玖珠町教育行政重点方針

1. 基礎基本学力の定着
2. 規範意識の徹底と自己肯定感の養成
3. 基礎体力の向上
4. 教職員のスキルアップ
5. コミュニティスクールの取り組み

評価指標	学校運営協議会委員評価	評価内容	A	ほぼ達成 (8割以上)
			B	概ね達成 (6割以上)
			C	変化の兆し (4割以上)
			D	不十分 (4割未満)

重点目標	平成24年度 目標 : 学校評価 (自己評価)				平成24年度学校関係者評価 (学校運営委員評価)								
	評価項目 (具体的取組)	達成指標	重点的取組	取組指標	達成状況 (結果)				達成度	学校運営協議会委員評価・所見	評価	次年度への課題と改善策	
					評価指標	1学期指標	2学期指標	3学期指標					変動グラフ
【徳】 規範意識の徹底と自己肯定感の養成	教育目標 【あたりまえが、あたりまえにできる生徒の育成】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「学校は楽しいですか」 【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①この意識調査を検証し、子どもたちが「学校は楽しい」と思えるような教育環境づくりを行っていく。 ②生徒一人一人の行動に注視し、変化があった場合など迅速な対応を行っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②学校生活の意義を考えさせる指導を学級活動の中で定期的に行っていく。 ③学校が楽しくなるように教育環境づくりに努める。	★【生徒による学校評価】 *「学校は楽しいですか」	85%	90%	82%		A			
		☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「将来の目標を持って学校生活を送っていますか」 【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①この意識調査を通じ、子どもたちに「将来の夢、目標を持って学校生活が送れるよう、今後の学校教育活動の中で指導していく。 ②生徒の主体性を育成できる指導を充実していく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②生徒に対して将来の目標や夢を持つことの大事さを全体集会のあるごとに、また、特活、ホームルーム、進路指導などで、機会あるごとに教えていくことも必要と考える。	★【生徒による学校評価】 *「将来の目標を持って学校生活を送っていますか」	54%	70%	75%		A			
		☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「あなたは友達と仲良く助け合っていますか」 【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①この意識調査を通じ、子どもたちが「子どもたちが仲良く助け合って」学校生活が送れるよう道徳教育や日常の学校生活など通じ指導していく。 ②「いじめ」の無い学校づくりに努めていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②生徒に対して友人を持つことの大事さや社会はみんなで助け合って生活していることについて、全体集会ごとに、ホームルームや道徳の時間等を活用して機会あるごとに教えていくことも必要と考える。	★【生徒による学校評価】 *「あなたは友達と仲良く助け合っていますか」	87%	94%	93%		A			
		☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「あなたは清掃活動にまじめに取り組んでいますか」 【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①玖珠中学校の教育目標 【あたりまえのことがあたりまえにできる生徒の育成】 教育目標達成に向けての重点的な取組として無言清掃の徹底を図っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②「無言清掃」運動を行っているので、更に指導徹底していきたい。 ③教師も生徒と一緒に清掃活動に取り組む。	★【生徒による学校評価】 *「あなたは清掃活動にまじめに取り組んでいますか」	82%	87%	94%		A			
	【特別活動の活性化】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「部活動は充実した活動になっていますか」 【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①生徒が部活動に主体的に取り組むことが出来るよう指導していく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②特に、部活動を通じ「あいさつ」や「礼儀」がよくなっている。学校生活における部活動の役割は重要である。 ③本校の教職員は全員でよく指導に頑張ってくれている。このがんばりを継続してもらいたい。	★【生徒による学校評価】 *「部活動は充実した活動になっていますか」	82%	82%	90%		A			
		☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「生徒会活動・専門部活動に一生懸命取り組んでいますか」 【肯定的数値】前期のアンケート結果を超えた場合、改善があったとして、目標達成とする。	①生徒会や専門部は今年の3年生が新しい玖珠中の伝統を創ってくれたと思っている。 ②生徒が生徒会活動や専門部活動に積極的に取り組むことができるよう支援するとともに、生徒自身が主体的に行動できる指導をしていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②2年生・1年生の新しい生徒会に更なる発展を期待したい。	★【生徒による学校評価】 *「生徒会活動・専門部活動に一生懸命取り組んでいますか」	81%	84%	86%		A			

平成24年度 学校自己評価システムシート・ 学校運営協議会委員評価・『学校経営』課題・改善アクションプラン (3学期評価)

平成27年10月21日

玖珠町立玖珠中学校 校長 梶原 敬明

教育目標	あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成
経営の重点目標	<p>☆子ども中心にすえて 「コミュニティ・スクール」として</p> <p>☆子どもの将来を見すえて</p> <p>☆あたりまえのことが、あたりまえにできること</p> <p>※教育目標達成に向けて・・・ ①学習に励む ②あいさつ・返事 ③清掃 ④服装！！</p>

- 玖珠町教育行政重点方針**
1. 基礎基本学力の定着
 2. 規範意識の徹底と自己肯定感の養成
 3. 基礎体力の向上
 4. 教職員のスキルアップ
 5. コミュニティスクールの取り組み

評価指標	学校運営協議会委員評価	評価内容	A	ほぼ達成 (8割以上)
			B	概ね達成 (6割以上)
			C	変化の兆し (4割以上)
			D	不十分 (4割未満)

重点目標	平成24年度目標：学校評価(自己評価)					平成24年度学校関係者評価(学校運営委員評価)						
	評価項目(具体的取組)	達成指標	重点的取組	取組指標	達成状況(結果)				達成度	学校運営協議会委員評価・所見	評価	次年度への課題と改善策
					評価指標	1学期指標	2学期指標	3学期指標				
②【徳】規範意識の徹底と自己肯定感の養成(2)	【長期欠席者対応】	☆30日以上長期欠席者の実績で判断 【長期欠席者数】 ☆長期欠席者0人を目標とする。	①今後も長期欠席者を出さないよう。生徒の変化、心の悩み等きめ細かな対応に心がけていく。 ②そのためには、生徒の変化を敏感にとらえ、早期発見、早期対策を行うことを教職員に徹底する。	①現在、長期の欠席者は無いが、運動会での生徒間の問題で休みがちな生徒が出てきており、家庭と連携して生徒が登校しやすい環境づくりを行っている。 ②生徒と教師の問題について課題が残っている。 ③2年生の女子生徒の人間関係において、組織的に対応していく。	0%	0%	2%		A			
	【いじめ・虐待対応】	☆生徒への「いじめ」アンケートで判断 *「先生はいじめなどない楽しい学級づくりに努めていると思いますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①生徒への意識調査を定期的に行う。 ②生徒指導の最重点において、生徒の行動・言動に注視していく。 ③早期発見・早期対応の徹底を図っていく。	①生徒間の行動の変化に注視していくとともに、その変化に対し早期発見、早期対策を行うことを教職員に徹底する。	86%	85%	82%		A			
	【先生のあいさつ】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「先生はあいさつがよくできていると思いますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①生徒に対し「あいさつ指導を徹底していくが、教師自らも積極的に生徒にあいさつ、声をかける等動めていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②生徒の思いを真摯にとらえ、この意識調査を通じ、教職員も自分自身をふりかえり、身をたたくところはただし、学校教育活動の改善を図っていく。	90%	90%	88%		A			
	【生徒指導の徹底】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「どの先生も同じ方針で生徒指導ができていると思いますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①生徒の思いを真摯にとらえ、この意識調査を通じ、生徒への指導の在り方や学校教育活動の改善を図っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②教師間に生徒指導に対する指導の一貫性の徹底を図っていくために、情報の共有と研修等を定期的実施していく。	70%	74%	74%		B			
	【生徒理解】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「先生はあなたのことをよく理解していると思いますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①生徒の思いを真摯にとらえ、この意識調査を通じ、生徒理解の在り方や生徒指導の在り方などふりかえることが必要と考えている。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②教師から積極的に生徒に声をかけるなど、生徒が気軽に相談しやすい雰囲気醸し出すよう教師に研修等を通じて指導していく。 ③教師が常に意識して一人一人の生徒の変化に気づくよう指導していく。	70%	72%	69%		B			
	【教育相談体制】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「相談事や悩みを先生は気楽に聞いてくれますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①生徒の思いを真摯にとらえ、この意識調査を通じ、生徒の悩みなど気軽に相談できる環境づくりの充実を図っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②教師から積極的に生徒に声をかけるなど、生徒が気軽に相談しやすい雰囲気醸し出すよう教師に研修等を通じて指導していく。 ③教師が常に意識して一人一人の生徒の変化に気づくよう指導していく。	69%	79%	76%		B			
	【生徒理解・教育的配慮】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「先生は生徒が理解しているかどうか、気を配っていると思いますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①生徒の思いを真摯にとらえ、この意識調査を通じ、生徒理解の在り方や生徒指導の在り方について、改めてふりかえることも必要と思われる。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②教師から積極的に生徒に声をかけるなど、生徒が気軽に相談しやすい雰囲気醸し出すよう教師に研修等を通じて指導していく。 ③教師が常に意識して一人一人の生徒の変化に気づくよう指導していく。	76%	76%	79%		B			
	【家庭への情報提供】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「学級や学校の様子を便りなどで積極的に知らせていると思いますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①家庭や地域への学校教育活動の情報提供は学校と家庭・地域との信頼関係の構築に大きな役割を果たしており、学校として積極的に情報提供を推進していく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②週1回程度は「学級通信」を通じ生徒の様子を保護者にお知らせするよう職員に指導していく。 ③月に2回程度「学校だより」により、保護者や地域住民に学校の教育活動の様子をお知らせしていく。	78%	76%	71%		B			
	【授業規律の指導】	☆生徒意識調査による肯定的評価で判断 *「授業中先生は、生徒の態度について指導ができていると思いますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①授業規律の高揚を図るうえで、生徒の態度などの規律指導は最も重要なことであり生徒の思いを真摯にとらえ、この意識調査を通じ、生徒への指導の在り方や学校教育活動の改善を図っていく。	①学期ごとに(年間3回)生徒に対して意識調査を行い検証する。 ②授業規律の徹底のため、生徒指導について指導の一貫性の徹底を図っていく。そのためには情報の共有と研修等を定期的実施していく。	82%	82%	81%		A			

平成24年度 学校自己評価システムシート・ 学校運営協議会委員評価・『学校経営』課題・改善アクションプラン (3学期評価)

平成27年10月21日

玖珠町立玖珠中学校 校長 梶原 敬明

教育目標	あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成
経営の重点目標	<p>☆子ども中心にすえて 「コミュニティ・スクール」として</p> <p>☆子どもの将来を見すえて</p> <p>☆あたりまえのことが、あたりまえにできること</p> <p>※教育目標達成に向けて・・・ ①学習に励む ②あいさつ・返事 ③清掃 ④服装！！</p>

- 玖珠町教育行政重点方針**
1. 基礎基本学力の定着
 2. 規範意識の徹底と自己肯定感の養成
 3. 基礎体力の向上
 4. 教職員のスキルアップ
 5. コミュニティスクールの取り組み

評価指標	学校運営協議会委員評価	評価内容	A	ほぼ達成 (8割以上)
			B	概ね達成 (6割以上)
			C	変化の兆し (4割以上)
			D	不十分 (4割未満)

重点目標	平成24年度目標：学校評価(自己評価)					平成24年度学校関係者評価(学校運営委員評価)						
	評価項目(具体的取組)	達成指標	重点的取組	取組指標	達成状況(結果)				達成度	学校運営協議会委員評価・所見	評価	次年度への課題と改善策
					評価指標	1学期指標	2学期指標	3学期指標				
③【体】 基礎体力の向上	【体力向上対策】 ・心身の調和的発 (体力向上と健全な 心身の発達を図 る。)	☆1年生【全国新体力テスト】の結果の総合判定で判断 ☆全国平均(Tスコア50)+1Pを目標とする。	①体育の授業で安全に留意し、体づくり運動や補強運動を通じ、体力の向上を図る。 ②中学生は大人の入り口として心身の発達と心の健康の指導を充実していく。 ③体力向上については、部活動の役割が大きく影響していると考えられることから、部活動の導入の指導と更なる活性化を図る。	【基礎体力の向上対策】 ①授業規律、集合などの約束事についての徹底指導をする。 ②ストレッチ体操で柔軟性を身に付けさせる。 ③体づくり運動、補強運動を通じ基礎体力の向上を図る。 ④部活動ごとに体づくりを図る。 ★中学生は大人の入り口としての指導 【心身の発達と心の健康】 【指導目標】 ①運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することが出来るようにする。 ②運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。 ③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、お互いに協力する、自己責任を果たす、参画するなど意欲でるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動を親しむたいどを育てる。	【1年生男子】 Tスコア ・握力 47.6 ・上体起こし 44.0 ・長座体前屈 50.5 ・反復横跳び 42.5 ・持久走 48.6 ・50m走 47.4 ・立ち幅跳び 45.3 ・ボール投げ 46.0					A B C D		
		☆1年生【全国新体力テスト】の結果の総合判定で判断 ☆全国平均(Tスコア50)+1Pを目標とする。	④「武道」を通じ、心、礼儀等の心体のバランスがとれた人間の育成の指導の徹底を図っていく。	【基礎体力の向上対策】 ☆授業の中で、更に、生徒が運動に意欲的に取り組むように、つねに問題意識を持って授業改善を図っていく。 ☆女子生徒が真剣に「体力測定」に取り組もうとする姿勢の高揚指導の徹底。 【体力向上についての部活動指導の役割】 ☆体力向上については、部活動の役割が大きく影響していると考えられることから、部活動の更なる活性化が必要である。 ★冬期での部活動のあり方の検討が必要であると考えられます。	【1年生女子】 Tスコア ・握力 51.1 ・上体起こし 44.6 ・長座体前屈 53.6 ・反復横跳び 50.0 ・持久走 46.6 ・50m走 43.6 ・立ち幅跳び 50.6 ・ボール投げ 50.2					A B C D		
		☆2年生【全国新体力テスト】の結果の総合判定で判断 ☆全国平均(Tスコア50)+1Pを目標とする。		【基礎体力の向上対策】 ☆「武道」の必修化は教育基本法を規定の具現化したものである。 ☆本校は「剣道」を必修として選択して、その中で、「剣道」を通してその「技能」に加え、「態度・知識・思考・判断」の育成を図っていく。	【2年生男子】 Tスコア ・握力 47.2 ・上体起こし 45.8 ・長座体前屈 45.3 ・反復横跳び 46.5 ・持久走 47.9 ・50m走 48.1 ・立ち幅跳び 46.8 ・ボール投げ 48.3					A B C D		
		☆2年生【全国新体力テスト】の結果の総合判定で判断 ☆全国平均(Tスコア50)+1Pを目標とする。			【2年生女子】 Tスコア ・握力 41.6 ・上体起こし 42.8 ・長座体前屈 49.0 ・反復横跳び 48.6 ・持久走 45.4 ・50m走 44.9 ・立ち幅跳び 45.8 ・ボール投げ 46.3					A B C D		
		☆3年生【全国新体力テスト】の結果の総合判定で判断 ☆全国平均(Tスコア50)+1Pを目標とする。			【3年生男子】 Tスコア ・握力 47.6 ・上体起こし 46.9 ・長座体前屈 49.2 ・反復横跳び 49.7 ・持久走 48.4 ・50m走 43.4 ・立ち幅跳び 49.3 ・ボール投げ 49.8					A B C D		
		☆3年生【全国新体力テスト】の結果の総合判定で判断 ☆全国平均(Tスコア50)+1Pを目標とする。			【3年生女子】 Tスコア ・握力 45.0 ・上体起こし 50.3 ・長座体前屈 51.2 ・反復横跳び 43.7 ・持久走 44.8 ・50m走 44.1 ・立ち幅跳び 52.1 ・ボール投げ 46.1					A B C D		

平成24年度 学校自己評価システムシート・ 学校運営協議会委員評価・『学校経営』課題・改善アクションプラン (3学期評価)

平成27年10月21日

玖珠町立玖珠中学校 校長 梶原 敬明

教育目標	あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成
経営の重点目標	<p>☆子ども中心にすえて 「コミュニティ・スクール」として</p> <p>☆子どもの将来を見すえて</p> <p>☆あたりまえのことが、あたりまえにできること</p> <p>※教育目標達成に向けて・・・ ①学習に励む ②あいさつ・返事 ③清掃 ④服装！！</p>

- 玖珠町教育行政重点方針**
1. 基礎基本学力の定着
 2. 規範意識の徹底と自己肯定感の養成
 3. 基礎体力の向上
 4. 教職員のスキルアップ
 5. コミュニティスクールの取り組み

評価指標	学校運営協議会委員評価	評価内容	A	ほぼ達成 (8割以上)
			B	概ね達成 (6割以上)
			C	変化の兆し (4割以上)
			D	不十分 (4割未満)

重点目標	平成24年度 目標 : 学校評価 (自己評価)					平成24年度学校関係者評価(学校運営委員評価)							
	評価項目 (具体的取組)	達成指標	重点的取組	取組指標	達成状況(結果)				達成度	学校運営協議会委員評価・所見	評価	次年度への課題と改善策	
					評価指標	1学期指標	2学期指標	3学期指標					変動グラフ
特別支援教育	【特別支援教育の充実】特別支援学級の生徒の個別の指導計画・授業案の作成及び授業実践	☆個別の指導計画を作成し、ケース会議(職員)、職員研修の実施率で評価 ☆24年度は、学期ごとに支援会議を開催するとともに、保護者との連絡会を定期的に行っていく。また、教職員の特別支援教育に関する研修会を年間2回開催する事を目標とする。	・現在、特別支援学級は「知的」「情緒」の2学級を設置している。 ・「知的」には1年生1名、2年生1名が在籍している。 ・「情緒」には2年生2名が在籍している。 ①それぞれの学級で、個々の生徒の個別の指導計画に基づいて、支援学級における個別指導や交流学級の生徒と一緒に共同学習による授業を実施していく。 ②生徒一人一人に応じた指導が適正に実施されているか定期的に検証し、迅速に改善していく。	①個別の指導計画による授業案・授業実践の取組。 ②定期的なケース会議を開催し、支援内容の改善。 ③定期的な保護者との連絡会議を開催し、連携を図る。 ④保護者と将来、社会人として自立していくための支援をどうするかなどの長期的視点で協議を行っていく。 ⑤特別支援学校や専門機関、医療機関と連携。 ⑥ほとんどが、授業的方法によるものと言えるが、領域・教科を合わせた指導では、日常生活の指導や生活単元学習の指導、作業学習の指導を実施している。	①職員研修の実施率 ②個別指導計画の作成 ③個別支援計画の作成 ④ケース会議の実施率 ⑤保護者との連絡会の実施率	80%	80%	100%		A			
④教職員のスキルアップ	【教職員自身の教育活動に対する意識】教育活動の活性化を図るため。	☆学校組織・運営に関する教職員の意識調査の中の「教職員自身の教育活動等」に関する調査で 【肯定的調査の平均値】で判断 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①平成24年度、初めて教職員の意識調査を行い教職員の思い(現状)が分かった。今後の学校教育活動の活性化に向けて、この意識調査を通じ、組織・学校運営の改善とともに、学校組織マネジメントを充実していくことが重要と考える。	①今後、教職員一人一人が教育活動に対する課題認識を持って実践できるよう教職員評価システムによるPDCAによる面談、校内研修等で充実を図っていく。 ②学期ごと(年間3回実施)学校組織・運営に関する教職員意識調査により、検証していった改善を図っていく。	【教職員の評価】 「教職員自身の教育活動等」に関する調査で	77%	75%		B				
	【教職員相互の取組】学校組織の活性化を図るため。	☆学校組織・運営に関する教職員の意識調査の中の「教職員相互の取組」に関する調査で 【肯定的調査の平均値】で判断 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①教職員相互のコミュニケーションを大切に職場環境づくりを進めていく。	①そのためには、面談等実施して、教職員一人一人が当事者意識を持って相互に力を高めようとする意識が芽生えるよう育てていく。 ②学期ごと(年間3回実施)学校組織・運営に関する教職員意識調査により、検証していった改善を図っていく。	【教職員の評価】 「教職員相互の取組」に関する調査で	41%	46%		D				
④教職員のスキルアップ(2)	【校務分掌・組織】効率的な校務分掌の推進と学校組織の活性化を図るため。	☆学校組織・運営に関する教職員の意識調査の中の「校務分掌・組織」に関する調査で 【肯定的調査の平均値】で判断 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①このアンケート結果から、現在の組織や分掌における課題、問題点について、各分掌ごとに分析・検証し、改善策を校内分掌検討委員会で審議し、改善が必要のところは見直しを図り、機能の充実を図っていく。	①組織・分掌内容については、教職員に説明して、組織としての共通認識を持って運営できるよう努めていく。 ②学期ごと(年間3回実施)学校組織・運営に関する教職員意識調査により、検証していった改善を図っていく。	【教職員の評価】 「校務分掌・組織」に関する調査で	53%	54%		C				
	【管理職評価】管理職は職員の仕事内容に理解をしてくれていると感じているか。	☆学校組織・運営に関する教職員の意識調査の中の「管理職の理解」に関する調査で 【肯定的調査の平均値】で判断 ☆前年度のデータがない 24年度は90%を目標とする。	①今回の管理職に対する評価の回答を真摯に受け止め、教職員の思いを十分に理解するよう努めていく。	①管理職に対する評価の回答を真摯に受け止め、教職員の思いを十分に理解するよう努めていくことが、教職員のモチベーションアップにつながり、それが、組織力を高めることになると考えている。 ③機会あるごとに、教職員からの意見を傾聴する姿勢をつくっていききたい。 ②学期ごと(年間3回実施)学校組織・運営に関する教職員意識調査により、検証していった改善を図っていく。	【教職員の評価】 「管理職の理解」に関する調査で	72%	75%		B				
	【学校評価・教育活動の改善】学校評価を通して、教育活動の改善を図るため。	☆学校組織・運営に関する教職員の意識調査の中の「学校評価・教育活動の改善」に関する調査で 【肯定的調査の平均値】で判断 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①学校評価を基に教育活動の改善に生かしていくことの充実を図っていく。	②学期ごと(年間3回実施)学校組織・運営に関する教職員意識調査により、検証していった改善を図っていく。	【教職員の評価】 「学校評価・教育活動の改善」に関する調査で	78%	76%		B				

平成24年度 学校自己評価システムシート・ 学校運営協議会委員評価・『学校経営』課題・改善アクションプラン (3学期評価)

平成27年10月21日

玖珠町立玖珠中学校 校長 梶原 敏明

教育目標	あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成
経営の重点目標	<p>☆子ども中心にすえて 「コミュニティ・スクール」として</p> <p>☆子どもの将来を見すえて</p> <p>☆あたりまえのことが、あたりまえにできること</p> <p>※教育目標達成に向けて・・・ ①学習に励む ②あいさつ・返事 ③清掃 ④服装！！</p>

- 玖珠町教育行政重点方針**
1. 基礎基本学力の定着
 2. 規範意識の徹底と自己肯定感の養成
 3. 基礎体力の向上
 4. 教職員のスキルアップ
 5. コミュニティスクールの取り組み

評価指標	学校運営協議会委員評価	評価内容	A	ほぼ達成 (8割以上)
			B	概ね達成 (6割以上)
			C	変化の兆し (4割以上)
			D	不十分 (4割未満)

重点目標	平成24年度 目標 : 学校評価 (自己評価)					平成24年度学校関係者評価(学校運営委員評価)						
	評価項目 (具体的取組)	達成指標	重点的取組	取組指標	達成状況(結果)				達成度	学校運営協議会委員評価・所見	評価	次年度への課題と改善策
					評価指標	1学期指標	2学期指標	3学期指標				
④ 教職員のスキルアップ (3)	【研修の方向性の理解と校内研修の充実】 研修のねらいについての理解・実行	☆教職員の自己評価(内部評価)で判断 *「研修のねらい・内容・方法を十分理解し、実行していますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は80%を目標とする。	①一人一人の教師の授業力の向上を図るため、公開授業や研修会に積極的に参加できるようにする。また、日々の授業における指導方法の工夫改善を常に意識して、T/T方式や習熟度別の授業形態などで協働して授業づくりを推進していく。	②学期ごと(年間3回実施)学校組織・運営に関する教職員意識調査により、検証して改善を図っていく。	【教職員の自己評価】 「研修のねらい・内容・方法」に関する調査で	91%	95%	95%		B		
	【授業力の向上】 学習指導要領の理解とその実践	☆教職員の自己評価(内部評価)で判断 *「学習指導要領に示されている内容や指導の配慮事項等を十分理解していますか」 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は90%を目標とする。	①校内研修や県教委主催の研修会に積極的に参加する。	②学期ごと(年間3回実施)学校組織・運営に関する教職員意識調査により、検証して改善を図っていく。	【教職員の自己評価】 「学習指導要領の理解と、その実践」	73%	85%	90%		B		
	【授業力の向上】 図書館を活用した調べ学習に努めているか。	☆授業の中での図書館利用率で判断 【肯定的数値】 ☆前年度のデータがない 24年度は90%を目標とする。	①研究主任、図書館担当教員、学校司書が連携して、校内全体の教職員が同じ目的を持ち「図書館活用事業推進校」として充実していく。	【図書館活用推進事業】 ・図書館を活用した調べ学習等を通じ、生徒が主体的に学習に励むことが出来るよう全ての学級・教科で図書館を活用する。	【教職員の自己評価】 「授業の中での図書館利用率」	90%	100%	100%		B		
⑤ コミュニティ・スクールの取組	【コミュニティ・スクール】 玖珠中がコミュニティ・スクールであることについて	☆コミュニティ・スクールアンケートで保護者と地域の回答結果判断 *「玖珠中はコミュニティ・スクールとしてスタートしたことを知っていますか」 【知っている】 ☆平成24年度は70%を超える数値を達成目標とする。	【学校経営計画の作成】 ①学校運営協議会で十分な論議の場を設定し、保護者や地域の方々のニーズに応える方針を作成する。その姿勢が学校の信頼につながる。 ②機会あるごとに地域の会議に出向き、学校の教育活動の説明を行っていく。 ③「学校たより」等を通じ、教育活動をお知らせしていく。	①保護者や地域に対して前期・後期と年間2回のアンケート意識調査を行い検証して、改善を図ることで保護者や地域住民にコミュニティスクールについての取り組みを周知していく。	【保護者・地域の評価】 *「玖珠中はコミュニティ・スクールとしてスタートしたことを知っていますか」	62%		70%		B		
	【コミュニティ・スクール】 保護者や地域の様々なニーズを学校運営に反映させ、地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。	☆コミュニティ・スクールアンケートで保護者と地域の結果で判断 *「玖珠中は地域の願いや声を聞いて教育活動を進めていると思いますか」 【思う】 ☆平成24年度は70%を超える数値を達成目標とする。	①学校の教育活動の推進においても、教員だけでなく情熱をもって当たっても、そこには限界があります。柔軟で創造的な教育活動には、保護者や地域の方々のコミュニケーションを充実させ、共通認識の基盤のもとで学校運営や授業に参画してもらおう。	①保護者や地域に対して前期・後期と年間2回のアンケート意識調査を行い検証して、改善を図ることで保護者や地域住民にコミュニティスクールについての取り組みを周知していく。 ②毎月、「学校運営協議会」を開催し、地域の意見や願いを聞く。	【保護者・地域の評価】 *「玖珠中は地域の願いや声を聞いて教育活動を進めていると思いますか」	50%		62%		B		
	【コミュニティ・スクール】 保護者や地域との連携交流の推進	☆コミュニティ・スクールアンケートで保護者と地域の結果で判断 *「玖珠中は保護者や地域の方との連携・交流のために努力していると思いますか」 【思う】 ☆平成24年度は70%を超える数値を達成目標とする。	①学校運営協議会を通じて、学校・家庭・地域社会が一体なる。 ②玖珠地区コミュニティ(自治会館)と連携して、地域活動に積極的に参加していく。 ③学校や生徒についてコミュニティ・スクールとしてアンケートを実施する。 ④学期ごとに保護者、生徒、教職員から「学校評価」のアンケートを実施するとともに検証して公表する。 ⑤保護者や地域の方々、外部の関係機関等による学校訪問を推進していく。 ⑥生徒の教育活動の活性化のための報道機関の活用	①保護者や地域に対して前期・後期と年間2回のアンケート意識調査を行い検証して、改善を図ることで保護者や地域住民にコミュニティスクールについての取り組みを周知していく。 ②地域や保護やおやじの会などからの支援もいただくが、生徒も地域の祭りや行事に積極的に参加していく。 ・自治会館祭り、地蔵講まつり、盆踊り、農業祭、機関車祭り、道の駅祭り等・・・年間10回以上参加して地域貢献を行う。	【保護者・地域の評価】 *「玖珠中は保護者や地域の方との連携・交流のために努力していると思いますか」	52%		70%		B		
	【コミュニティ・スクール】 保護者や地域社会への情報提供の推進	☆コミュニティ・スクールアンケートで保護者と地域の結果で判断 *「玖珠中は教育活動や子どもの様子を地域に知らせる努力していると思いますか」 【思う】 ☆平成24年度は70%を超える数値を達成目標とする。	①【玖珠中学校たより】を通じ、情報の発信・情報公開する＝「開かれた玖珠中学校」 ②説明責任・・・学校・学年・学級通信並びにPTAだより等の発行など ③情報の受信・・・保護者・地域の学校への意見・要望の受入＝アンケート等を実施するなどして ④保護者、地域及び生徒にコミュニティ・スクールとしてアンケートを実施して学校評価をいただく。	①保護者や地域に対して前期・後期と年間2回のアンケート意識調査を行い検証して、改善を図ることで保護者や地域住民にコミュニティスクールについての取り組みを周知していく。 ②毎月、「学校運営協議会」の情報や学校教育活動の情報を提供していく。・・・年間最低12回以上発行	【保護者・地域の評価】 *「玖珠中は教育活動や子どもの様子を地域に知らせる努力していると思いますか」	64%		77%		B		
	【コミュニティ・スクール】 生徒のあいさつ	☆コミュニティ・スクールアンケートで保護者と地域の結果で判断 *「玖珠中の生徒はよくあいさつをしますか」 【思う】 ☆平成24年度の前期に実施したアンケート結果を超える数値を達成目標とする。	①玖珠中学校の教育目標【あたりまえのことがあたりまえにできる生徒の育成】教育目標達成に向けての重点的取組として☆「あいさつ」運動を行っている。	①保護者や地域に対して前期・後期と年間2回のアンケート意識調査を行い検証して、改善を図ることで保護者や地域住民にコミュニティスクールについての取り組みを周知していく。 ②毎朝、10人程度以上の職員で生徒を迎え「あいさつ」運動を行う。 ③交通安全週間は毎朝、通学路に教職員が立ち交通安全指導を行う。・・・年間1週間の期間で4回程度	【保護者・地域の評価】 *「玖珠中の生徒はよくあいさつをしますか」	54%		77%		B		
	【コミュニティ・スクール】 学校へのボランティア協力支援等の推進	☆コミュニティ・スクールアンケートで保護者と地域の結果で判断 *「機会があれば、学校へボランティアとして協力や支援したいと思いますか」 【思う】 ☆平成24年度は70%を超える数値を達成目標とする。	①学校運営協議会を通じて、家庭・地域に依頼していく。 ②玖珠地区コミュニティ(自治会館)と連携して、地域の人材を発掘して協力依頼を行っていく。 ③機会あるごとに、情報提供することで、教育活動のアピールを行っていく。 ④「おやじの会」等の様々な職種を持った専門家集団の活用を積極的に行っていく。	①保護者や地域に対して前期・後期と年間2回のアンケート意識調査を行い検証して、改善を図ることで保護者や地域住民にコミュニティスクールについての取り組みを周知していく。 ②積極的にボランティア等の公募を行い活用していく。 ③「夢かけ橋塾」をテスト前、長期休業中等に積極的に活用していく。	【保護者・地域の評価】 *「機会があれば、学校へボランティアとして協力や支援したいと思いますか」	80%		82%		B		

平成24年度 学校自己評価システムシート・ 学校運営協議会委員評価・『学校経営』課題・改善アクションプラン (3学期評価)

平成27年10月21日

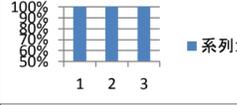
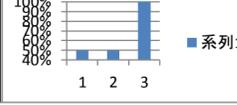
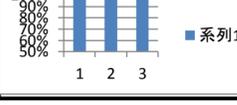
玖珠町立玖珠中学校 校長 梶原 敏明

教育目標	あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成
経営の重点目標	<p>☆子ども中心にすえて 「コミュニティ・スクール」として</p> <p>☆子どもの将来を見すえて</p> <p>☆あたりまえのことが、あたりまえにできること</p> <p>※教育目標達成に向けて・・・ ①学習に励む ②あいさつ・返事 ③清掃 ④服装！！</p>

玖珠町教育行政重点方針

1. 基礎基本学力の定着
2. 規範意識の徹底と自己肯定感の養成
3. 基礎体力の向上
4. 教職員のスキルアップ
5. コミュニティスクールの取り組み

評価指標	学校運営協議会委員評価	評価内容	A	ほぼ達成 (8割以上)
			B	概ね達成 (6割以上)
			C	変化の兆し (4割以上)
			D	不十分 (4割未満)

重点目標	平成24年度 目標 : 学校評価(自己評価)						平成24年度学校関係者評価(学校運営委員評価)					
	評価項目 (具体的取組)	達成指標	重点的取組	取組指標	達成状況(結果)			達成度	学校運営協議会委員評価・所見	評価	次年度への課題と改善策	
					評価指標	1学期 指標	2学期 指標					3学期 指標
⑩危機管理 及び施設・ 設備管理	【危機管理研修】 危機管理マニュアル 等で研修会を実施し ているか	☆危機管理研修会の実施回数で判断 ・学期ごと年3回以上実施・・・(A) ・年2回以上実施・・・(B) ・年1回以上実施・・・(C) ・実施していない・・・(D)	☆危機管理研修会を学期ごと年3回以上実施を目標とする。	・危機管理マニュアル、学校運営規定コンプライアンスの手引き等により、危機管理研修=(災害、服務規律、情報、救急法、防災訓練)を行う。 ・併せて、生徒の安全の確保についての研修。 ・教職員に周知徹底を図っていく研修を実施。	☆危機管理研修会を学期ごと年3回以上実施を目標とする。	100%	100%	100%		A		
	子どもたちが安心して学べる学校づくり 危機(地震・火災・水害等)対応	☆交通安全指導、防災訓練の実施回数で判断 ・地域や関係機関と連携して交通安全指導、防災訓練実施・・・(A) ・校内で交通安全指導と防災訓練を実施・・・(B) ・交通安全指導、防災訓練いずれかを実施・・・(C) ・交通安全指導、防災訓練実施していない・・・(D)	☆地域や関係機関と連携して交通安全指導、防災訓練実施を目標とする。	・警察署による自転車利用に関する交通安全指導。 ・地域と合同の防災訓練。 ・通学路の安全点検。 ・災害時の関係機関との連絡体制の確認。 ・教職員への周知徹底指導。	☆地域や関係機関と連携して交通安全指導、防災訓練実施を目標とする。	50%	50%	100%		A		
	【学校施設・設備の安全点検】	☆施設・設備の安全点検の実施回数で判断 ・年3回以上実施・・・(A) ・年2回以上実施・・・(B) ・年1回以上実施・・・(C) ・実施していない・・・(D)	☆安全点検を学期ごと年3回以上実施を目標とする。	・安全点検を学期ごと、随時実施。 ・問題箇所について教育委員会への報告と営繕管理。 ・教職員へ問題箇所の発見の報告の徹底。	☆安全点検を学期ごと年3回以上実施を目標とする。	100%	100%	100%		A		